

令和5年度 シラバス

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科
工業技術基礎	4単位	1	必修	設備工業科

1. 科目「衛生・防災設備」について

学習の到達目標	<p>工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の諸課題を適切に解決することに必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 工業技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 工業技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する能力を養う。</p> <p>(3) 工業技術に関する広い視野を持つことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組み態度を養う。</p>
使用教科書	工業技術基礎 (実教出版)

2. 科目全体の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的取り組む態度
設備分野がもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	設備分野に関する課題を発見し、設備に携わる者として科学的な根拠に基づき設備技術の進展に対応し解決する能力を身に付けている。	設備分野に関する広い視野を持つことを目指して自ら学び、設備の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度が身についている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 製作課題 ・ 行動観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製作課題 ・ 行動観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製作課題 ・ 行動観察 ・ 課題発表

3. 評価の方法

評価の割合は、内規によるものとし達成度をもって評定へ総括する。

観点別学習状況の表記区分については、内規によるものとし「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」の3区分を評価規準と設定し、学期ごとではA～Cの3段階で、学年末においては、1～5の5段階として評価を行う。

4. 年間指導計画表

学期	月	時間	学習内容	学習目標	評価方法
1 学期	4 5 6 7	56	(1) 建築配管 (2) 冷凍配管 (3) 溶接 (4) 木工 ※4つの班に分かれ、 年間を通して4つのテ ーマについて各実習を 行う。	○建築配管・冷凍配管・溶接及び木工作業が 担う社会的な意義や役割を理解し、施工時に おける安全項目を理解している。 ○社会や環境、エネルギーに配慮し、設備分 野と関連付けながら、建築配管・冷凍配管・ 溶接及び木工作業に関する課題を見いだすと ともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき 結果を検証し改善している。	・製作課題 ・行動観察 ・課題発表
	2 学期				
3 学期	1 2 3	28			
各学期の評価方法				製作課題等、観点別評価を数値化し評価する。	